

実施した対策の効果・影響の検討（案）

1. 国道1号静岡バイパス瀬名IC交差点（実施主体：国土交通省）＜令和5年3月17日完了＞

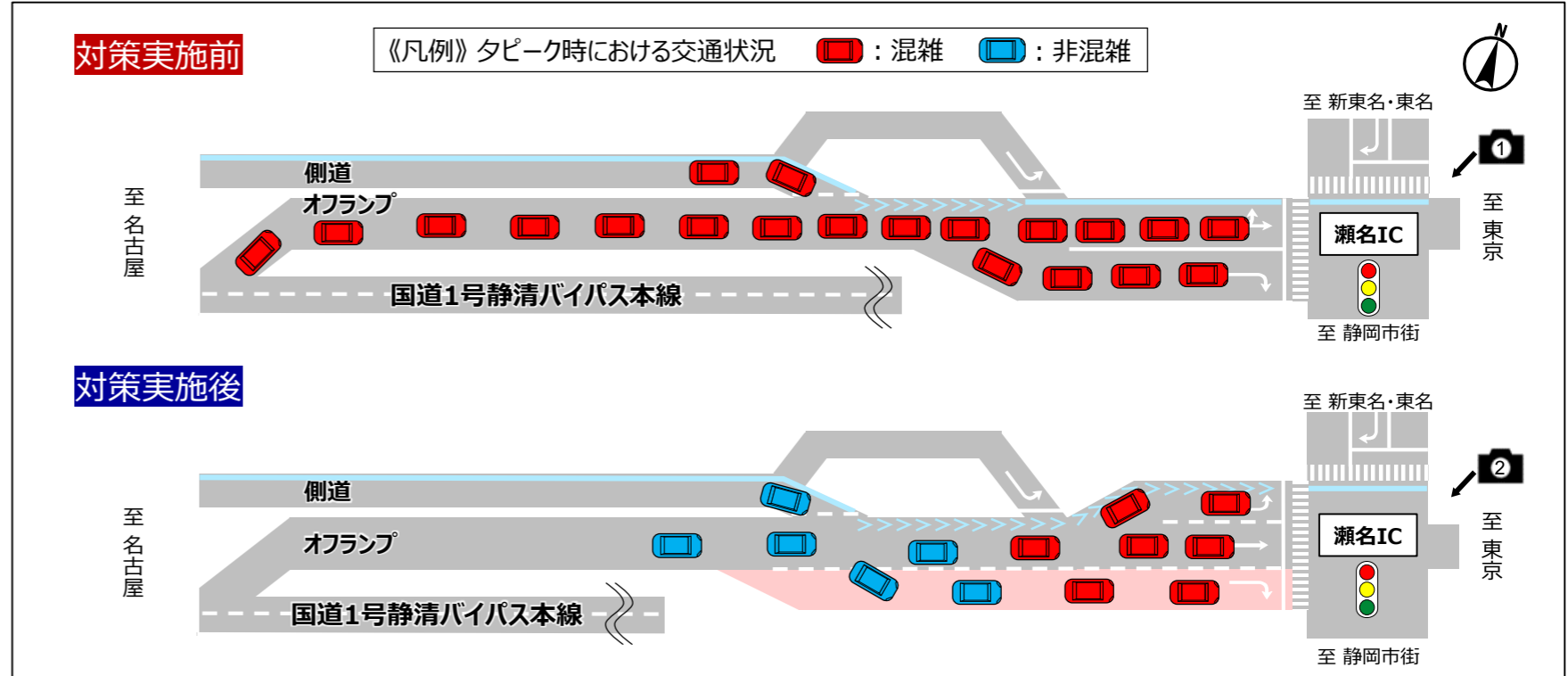
1-1 瀬名IC交差点 交差点改良による車線拡幅

- 瀬名IC交差点上りオフランプは、朝ピーク時における右折車及び右折方向の横断歩行者が多いため、本線近くまで滞留。
- 交通渋滞の緩和のため、瀬名IC交差点の交差点改良による車線拡幅を実施し、令和5年3月17日に完了。
- 交差点改良の結果、夕ピーク時における渋滞が緩和。朝ピーク時にはやや速度向上がみられるものの、渋滞は残存。引き続き、効果検証を実施。

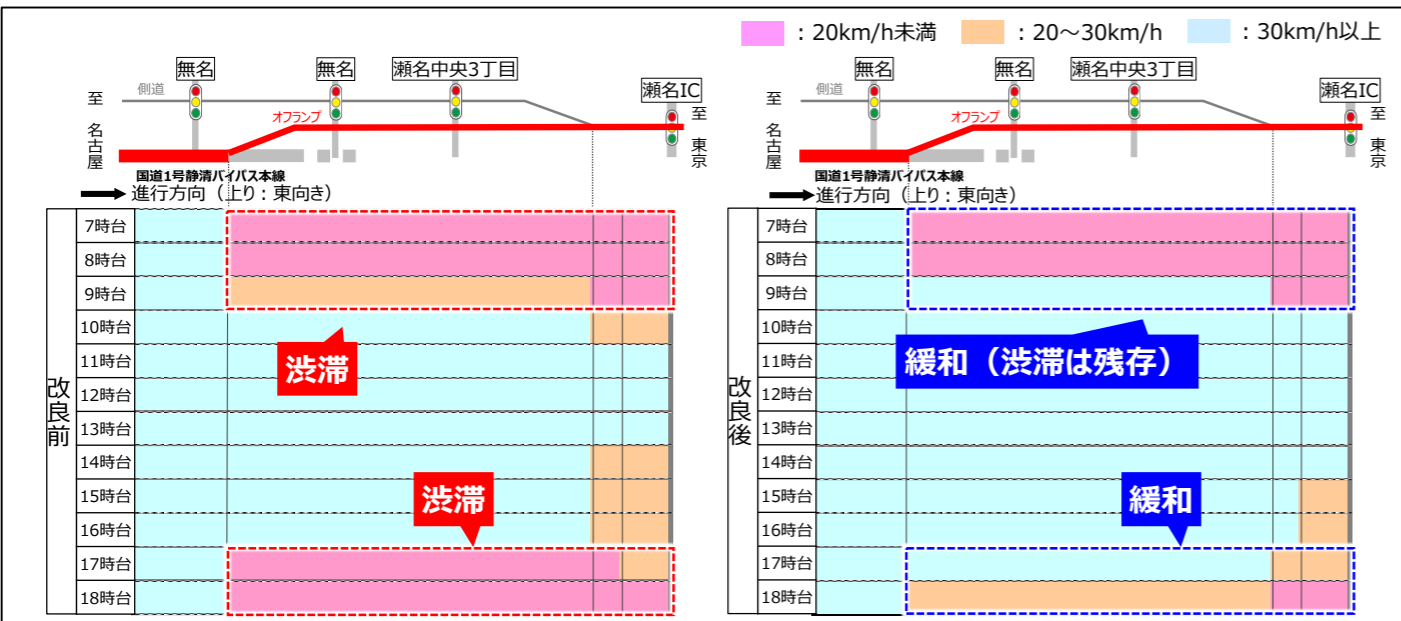
＜位置図＞



＜対策内容＞：交差点改良による車線拡幅（車線運用見直し、右折車線延伸、流入部拡幅）



■ 速度カウンター図



出典：ETC2.0プローブ情報（改良前：令和4年4月平日 改良後：令和5年4月平日（速報値））

■ 対策前後の車線形態



写真撮影日：（対策前）令和2年11月5日、（対策後）令和5年3月16日

3. 田沼街道踏切（実施主体：藤枝市）＜令和4年12月23日完了＞

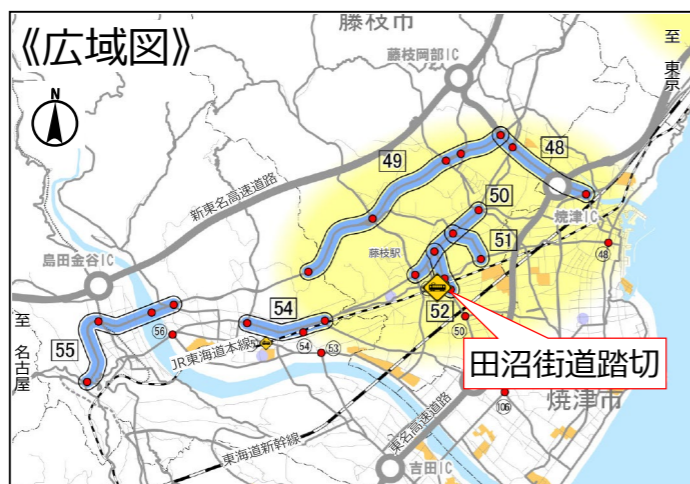
3-1 田沼街道踏切改良

- 平成29年に踏切道改良促進法に基づき、「改良すべき踏切道」として指定された『田沼街道踏切』について、車線幅員の拡幅（5m⇒6m）を実施し、令和4年12月23日に完了。
- 今回の拡幅工事で、踏切部及び前後交差点で発生していた交通渋滞の緩和が期待。今後、効果検証を実施する予定。

■ 計画の緒元と事業概要

- 踏切道名：田沼街道踏切（市道3地区359号線：藤枝駅～西焼津駅間踏切）
- 事業経緯：平成29年1月27日に踏切道改良促進法に基づき「改良すべき踏切道」として指定。（指定理由：第2条第10号※）
- 事業概要：車道幅員の拡幅（5m⇒6m）
 - 車両交通量：約8,400台/日
 - ピーク遮断時間：21.9分/時
- 歩行者通行量：約460人/日

■ 位置図



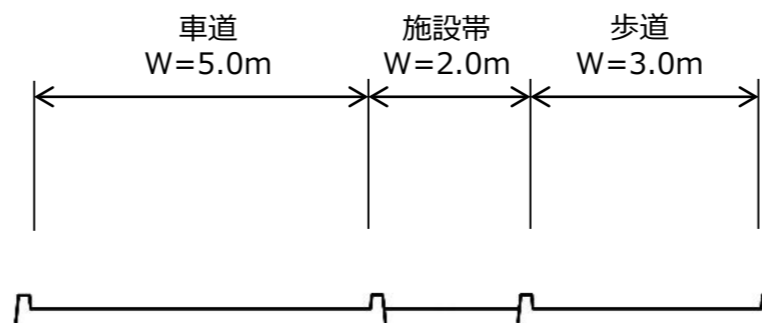
■ 現地状況

《対策前》



写真：藤枝市より受領

○ 標準断面図

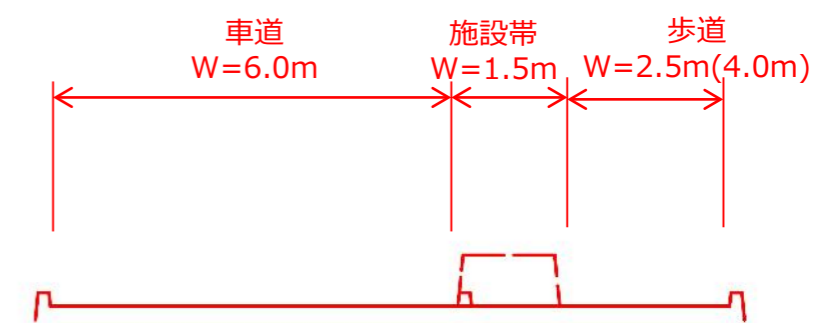


《対策後》



写真：藤枝市より受領

○ 標準断面図



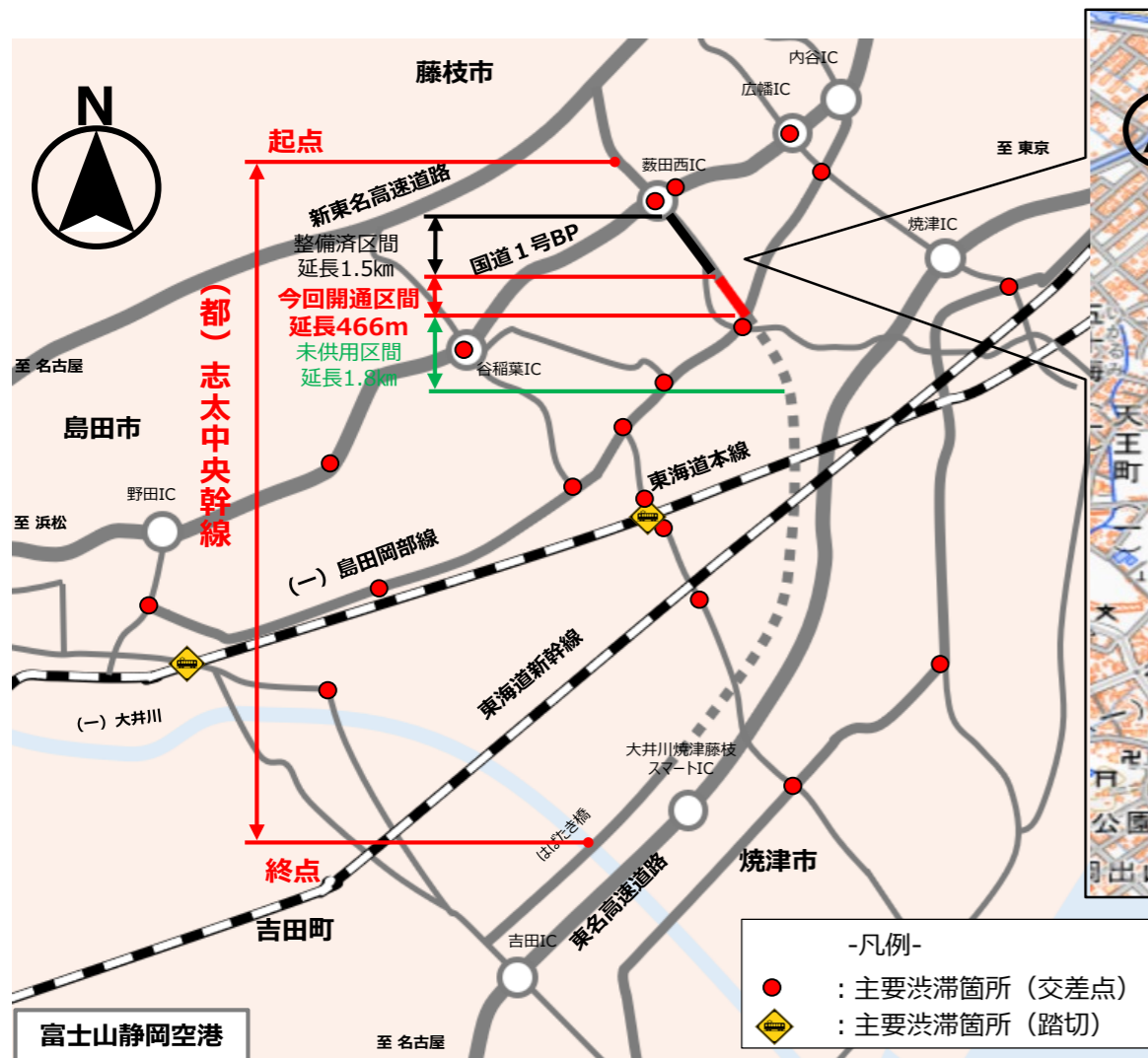
※第2条第10号：踏切道における交通量、事故の発生状況、踏切道の構造、地域の実情その他の事情を考慮して、踏切道の改良による事故の防止又は交通の円滑化の必要性が特に高いと認められる踏切について、「改良すべき踏切道」として指定。

4. (都)志太中央幹線 (実施主体:静岡県) <令和5年3月25日完了>

4-1 (都)志太中央幹線(左車工区) 開通

- (都)志太中央幹線のうち、国道1号バイパスと一般県道島田岡部線間の約0.5kmの整備が令和5年3月25日に完了。
- 当該区間の整備により、一般県道伊久美藤枝線の慢性的な渋滞が緩和され、交通の安全性向上に期待。今後、効果検証を実施する予定。

■ 位置図



■ 計画の諸元と事業概要

事業名	都市計画道路志太中央幹線
区間	藤枝市天王町三丁目～大手二丁目
延長	466.0m
道路規格	第4種第2級
車線数	4車線 (暫定2車線供用)
事業経緯	1973 (昭和48) 年度都市計画決定 2005 (平成17) 年度測量・調査開始 2012 (平成24) 年度事業認可取得 用地補償開始 2013 (平成25) 年度工事着手

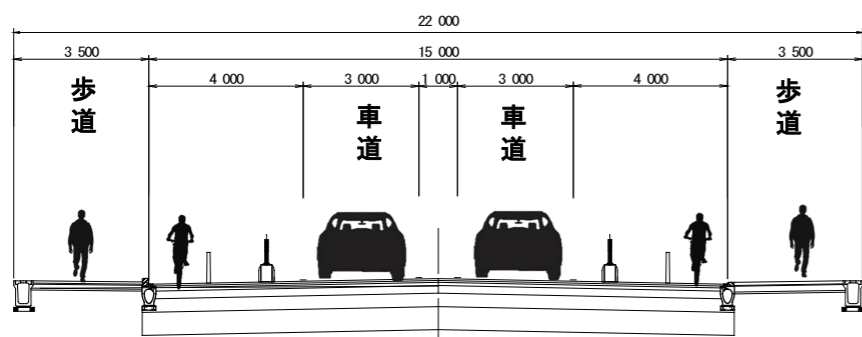
■ 完成 (暫定2車線)



■ 工事着手前



■ 標準横断図面 (暫定2車線)



写真：静岡県より受領

写真：静岡県より受領

5. 河津下田道路(Ⅱ期)河津七滝～河津逆川IC(実施主体:国土交通省) <令和5年3月19日完了>

5-1 河津下田道路(Ⅱ期)の部分開通

- 伊豆縦貫自動車道河津下田道路(Ⅱ期)のうち、河津七滝IC～河津逆川IC(3.0km)が令和5年3月19日に開通。
- 河津下田道路(Ⅱ期)河津七滝IC～河津逆川IC間の開通により、国道414号現道及び(主)下佐ヶ野谷津線の交通が約4割転換し、生活交通との分散が図られ、国道414号現道ルート利用時に比べ約9分、国道135号ルート利用時に比べ約12分、所要時間が短縮。

■位置図



■事業概要

事業名:伊豆縦貫自動車道
河津下田道路(Ⅱ期)

施行者:国土交通省
沼津河川国道事務所

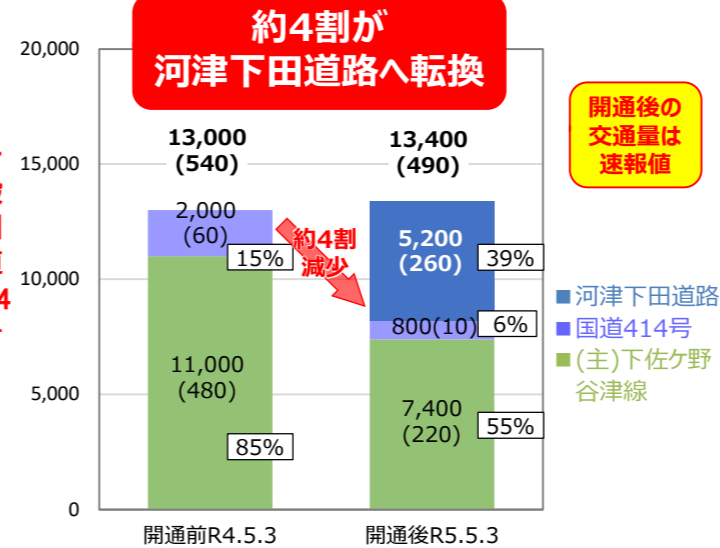
事業延長:6.8km
※開通区間:河津七滝IC
～河津逆川IC

事業期間:平成24年度～
※開通区間の開通時期:
令和4年度

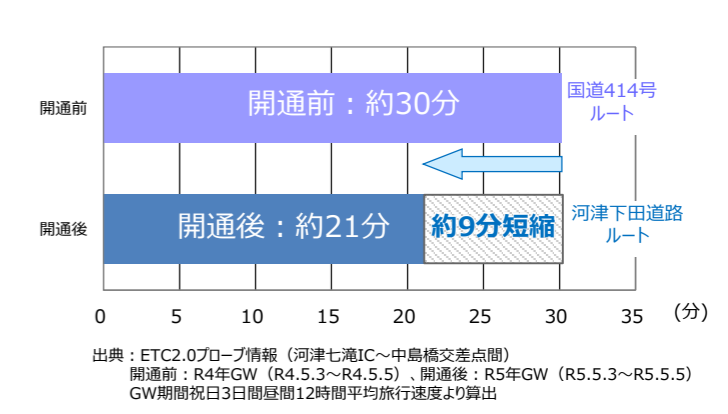
■整備効果



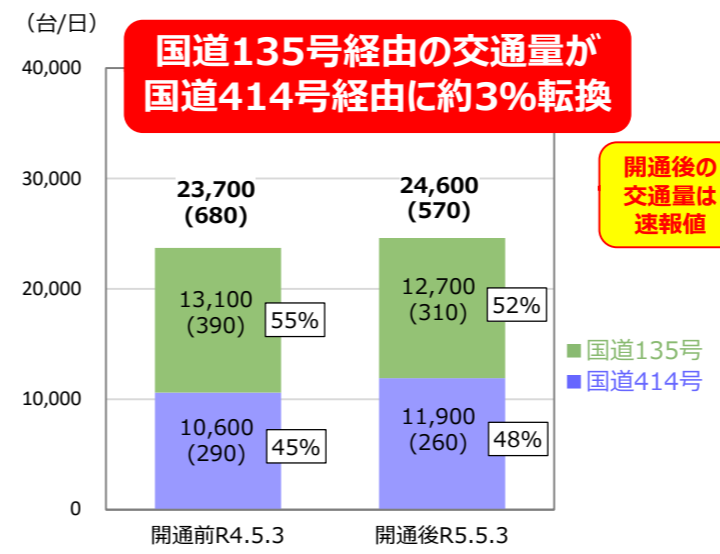
■開通前後の交通量変化(A断面)



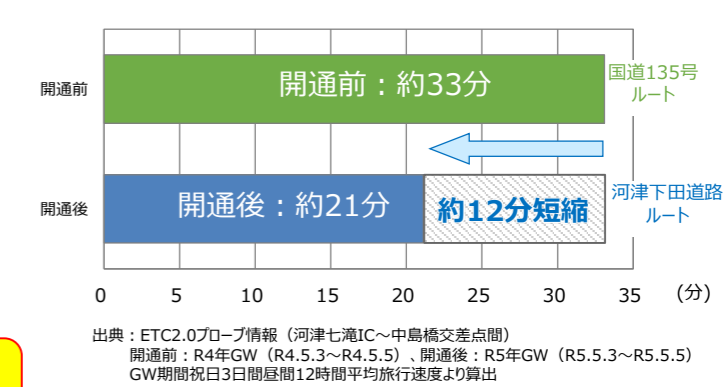
■開通区間利用による所要時間の短縮



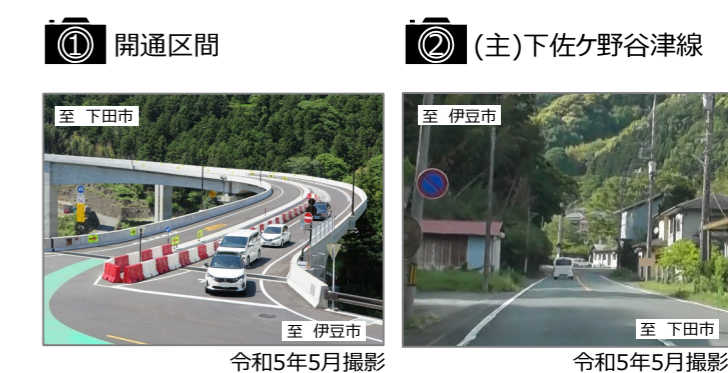
■開通前後の交通量変化(B断面)



■開通区間利用による所要時間の短縮



■開通後の交通状況

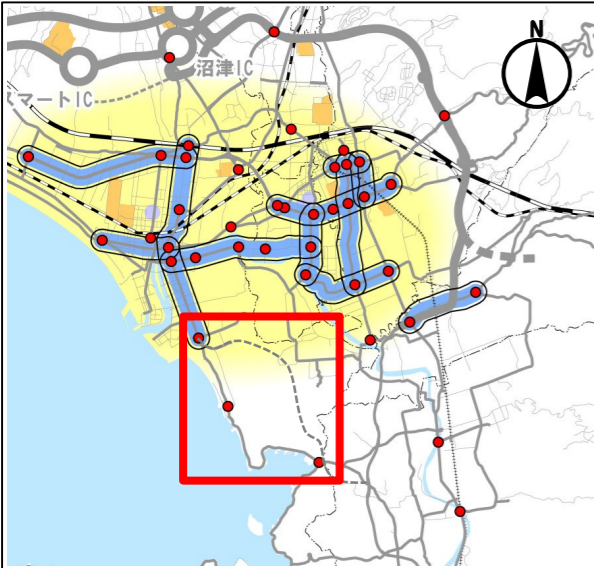


6. 国道414号 静浦バイパス第1期工区（実施主体：静岡県） <令和5年3月27日完了>

6-1 国道414号 静浦バイパス第1期工区の開通

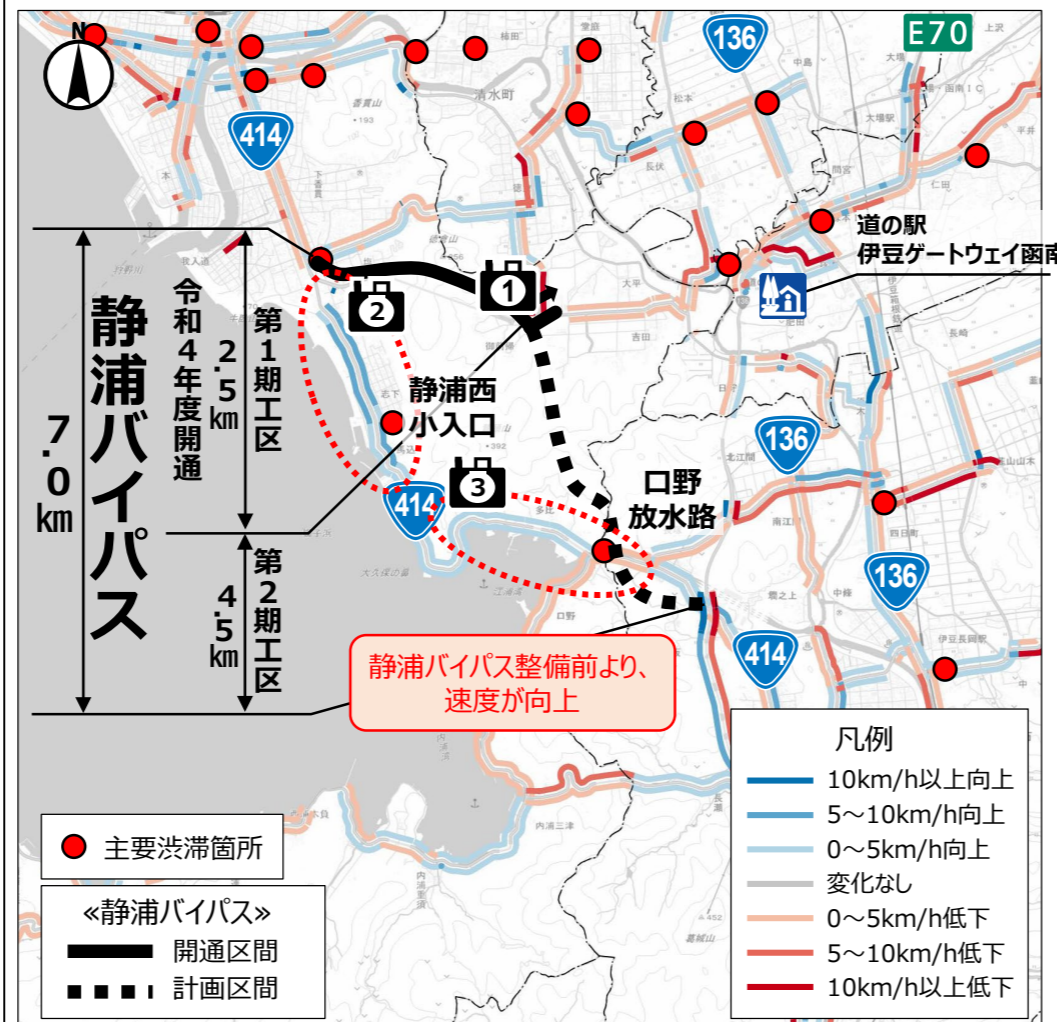
- 国道414号から道の駅「伊豆ゲートウェイ函南」方面へ、約1,200mの沼津アルプストンネルで通り抜ける道路が、令和5年3月27日に開通。
- 国道414号では、観光期に速度低下が発生していたが、静浦バイパス第1期工区の開通により、一部区間において速度低下が緩和。
- しかしながら、国道414号の一部区間では、依然として速度低下が発生。
- 静浦バイパスが全線整備されることで、現道からバイパスに交通が転換され、国道414号の速度向上により、近接する主要渋滞箇所の解消が期待。

■位置図

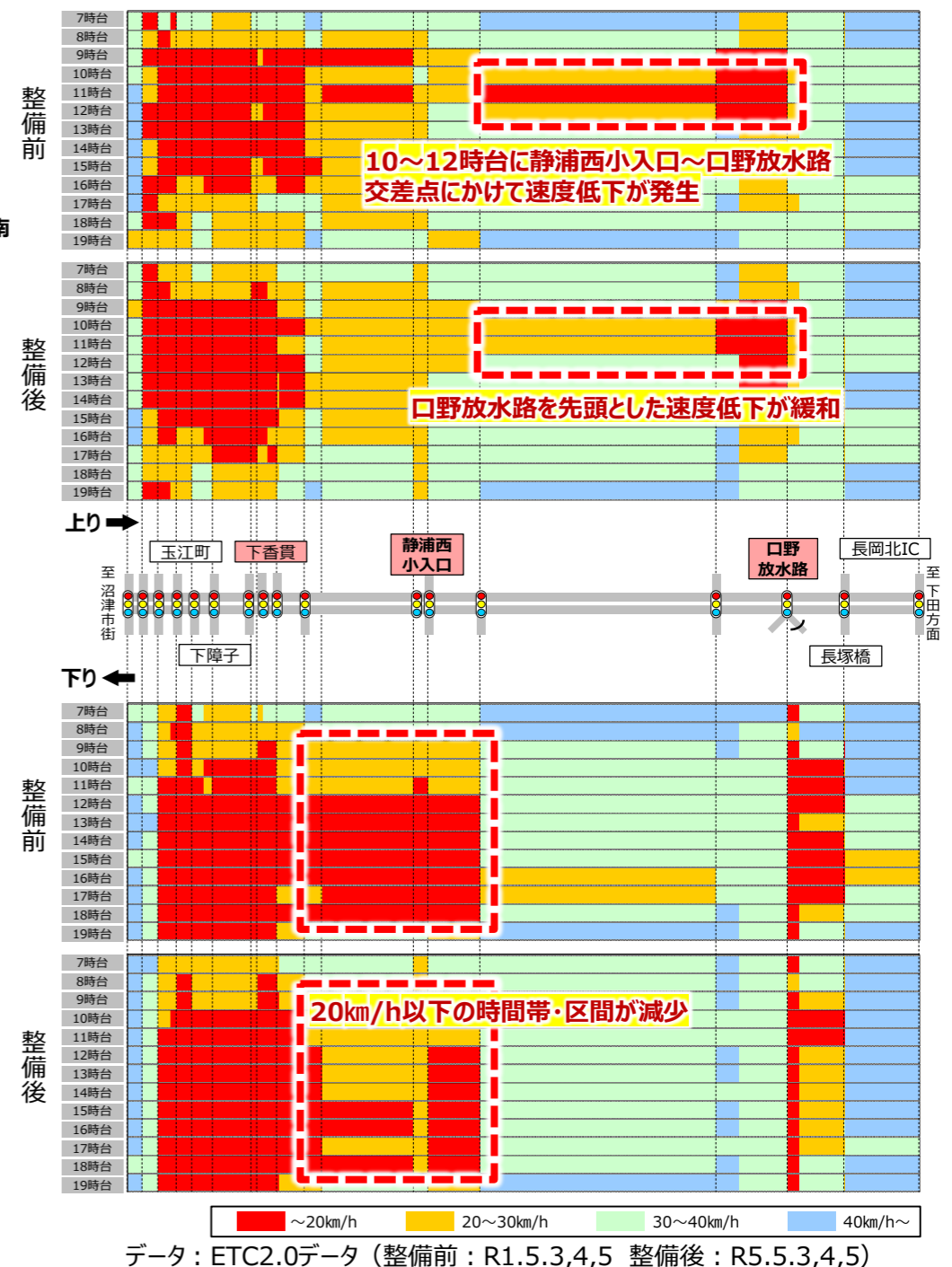


■整備効果

・整備前後の速度差（R1.5.3,4,5とR5.5.3,4,5の11時台（GW））



・整備前後の速度状況



■事業概要

事業名：国道414号 静浦バイパス 第1期工区

施行者：静岡県

事業延長：2.5km

設計速度：60km/h

幅員構成(平地部)：全体幅員27m
 上り下り各1車線(暫定形)

事業期間：平成6年度～令和4年度

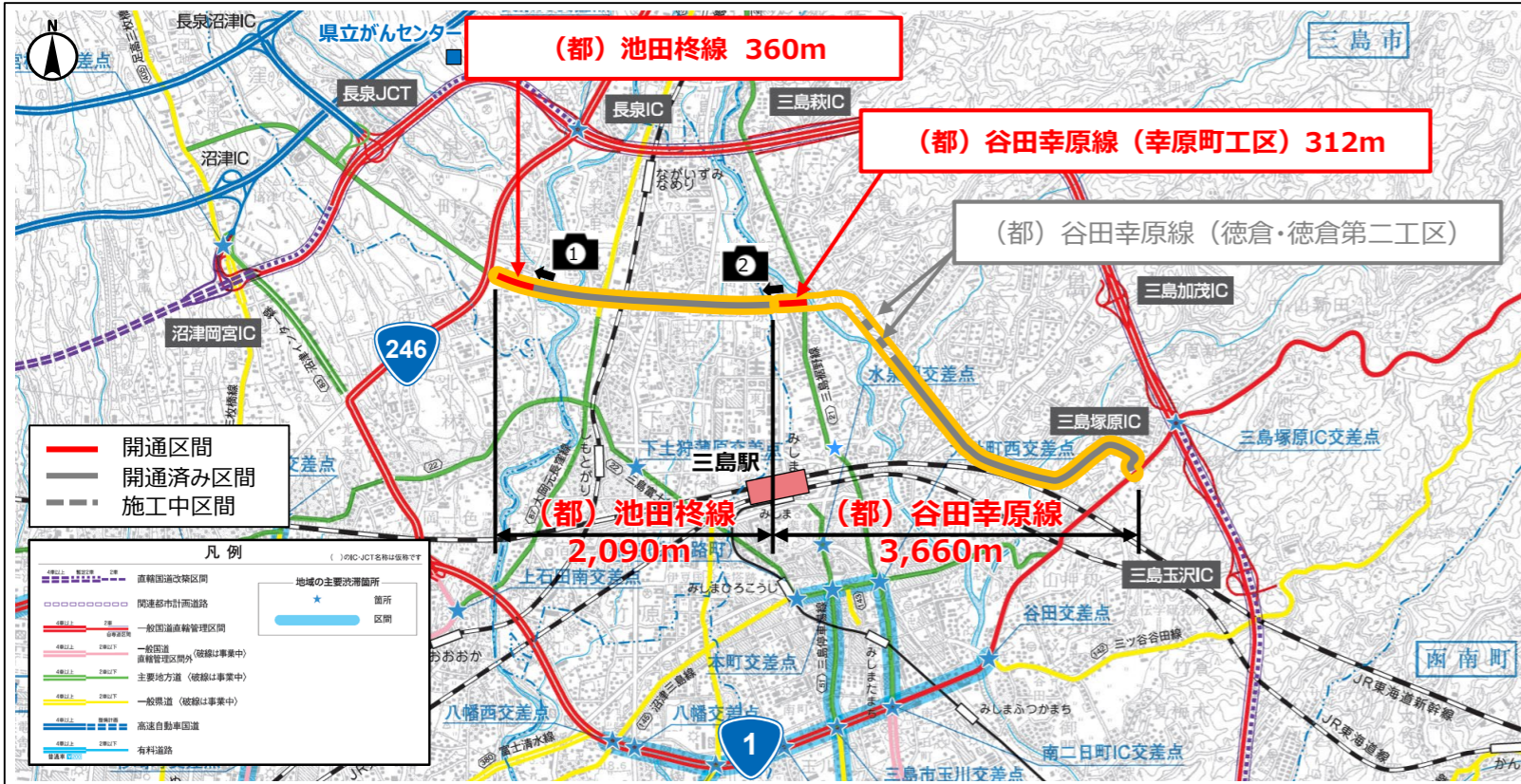


7. (都)池田柵線、(都)谷田幸原線(幸原町工区) (実施主体:静岡県) <令和5年3月18日完了>

7-1 (都)池田柵線、(都)谷田幸原線(幸原町工区)の開通

- (都)谷田幸原線(幸原町工区)が令和5年2月23日、(都)池田柵線が令和5年3月18日に開通し、三島駅から新東名まで直結。
- 両区間の開通により、三島駅から高速道路インターチェンジへの最短経路となり、周辺の市町道から都市計画道路へ交通が転換。
- 三島市が整備を進めている(都)谷田幸原線の徳倉・徳倉第二工区の開通により、主要渋滞箇所が連続する国道1号や三島市街地の混雑緩和が期待。

■位置図



■事業概要

事業名: (都)池田柵線



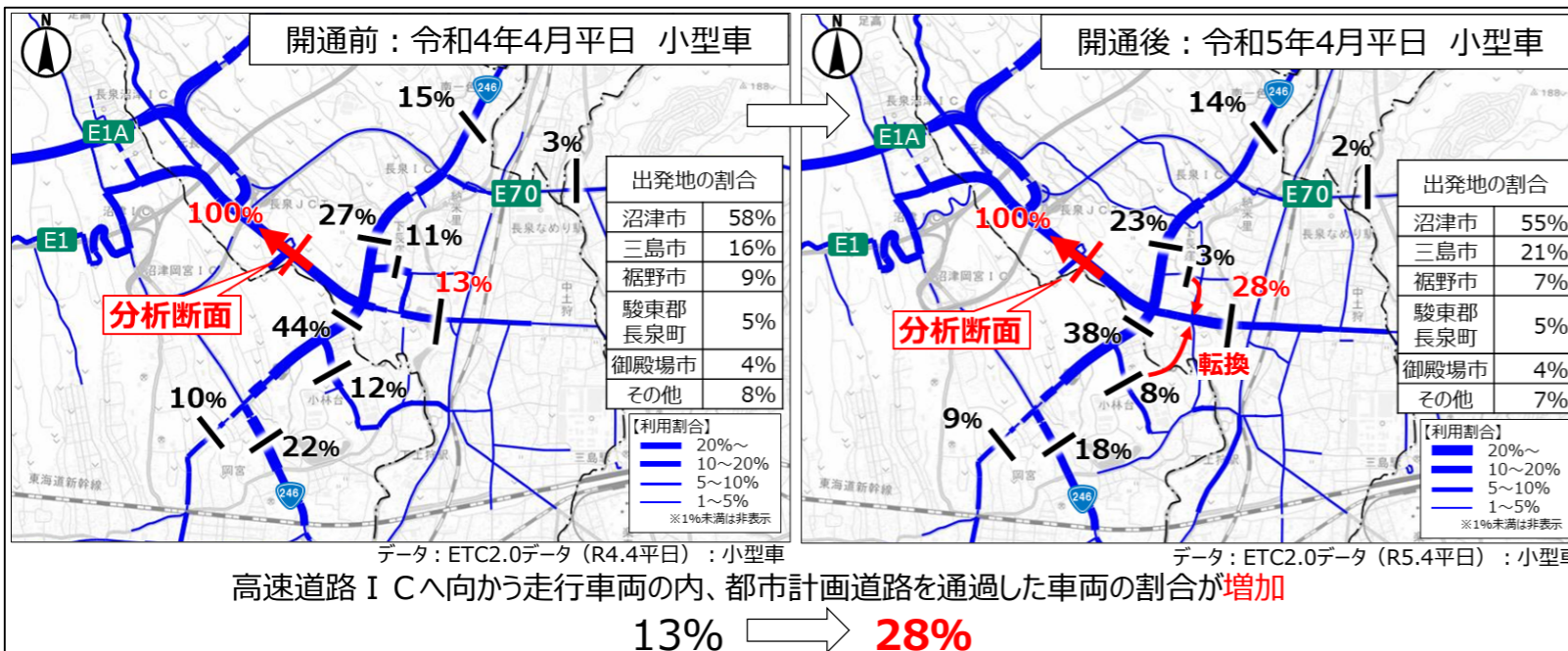
事業延長: 360m
 計画幅員: 25.0m
 事業期間: 平成24年度～令和4年度

事業名: (都)谷田幸原線(幸原町工区)



事業延長: 312m
 計画幅員: 27.0m
 事業期間: 平成23年度～令和4年度

■整備効果



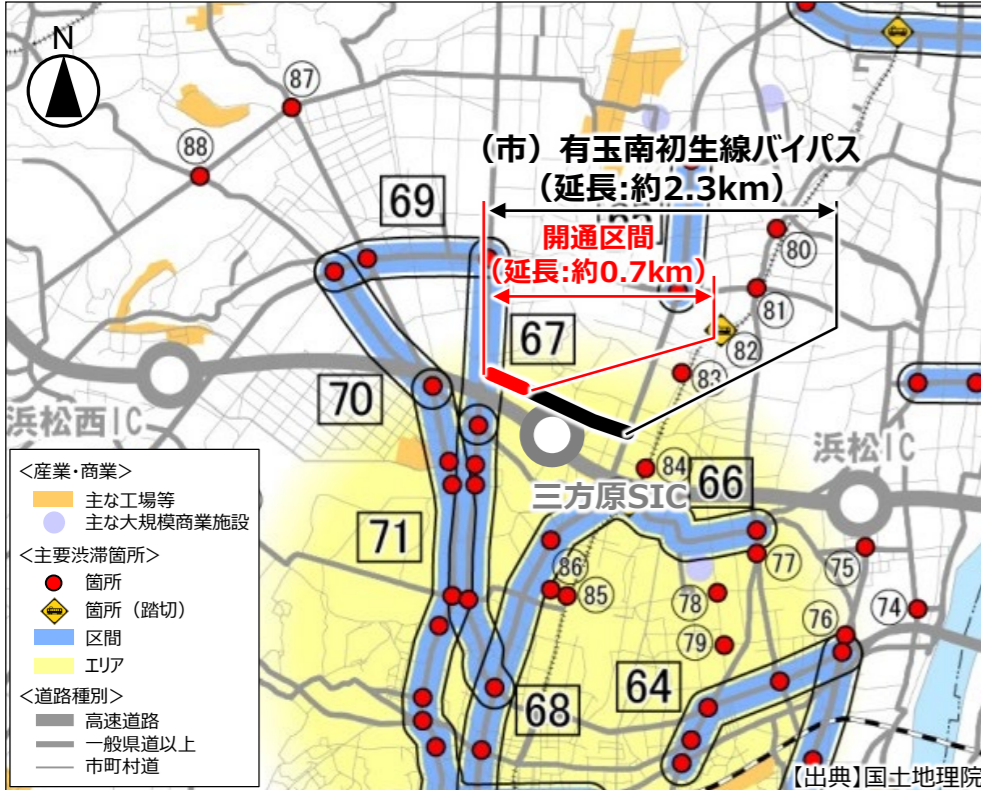
8. (市)有玉南初生線バイパス (実施主体:浜松市) <令和5年3月4日完了>

ありたまみなみ はつおい

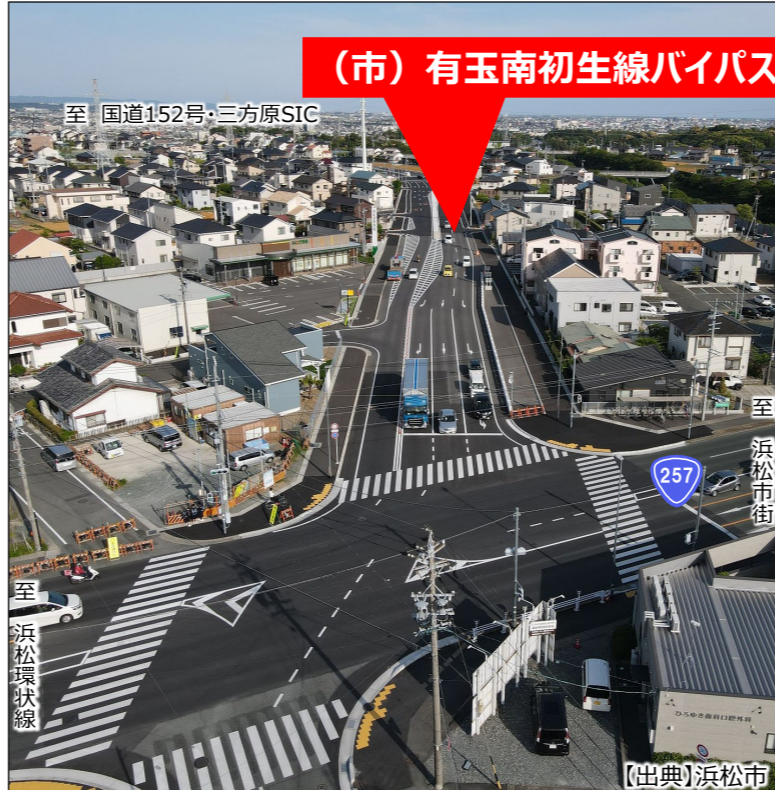
8-1 (市)有玉南初生線バイパス

- 東名高速道路の三方原SIC周辺では、東西方向の幹線道路が少なく、(県)磐田細江線では、慢性的に渋滞が発生。
- (市)有玉南初生線バイパスは、浜松市の南北幹線である国道152号と国道257号を結ぶとともに、東名高速道路三方原SICへのアクセス道路としての機能も果たす道路であり、平成25年度より事業に着手し、令和5年3月4日に全線が開通。
- 本路線の整備により、(県)磐田細江線の交通が転換し、同県道の渋滞緩和が期待できる。

■位置図



■現地状況

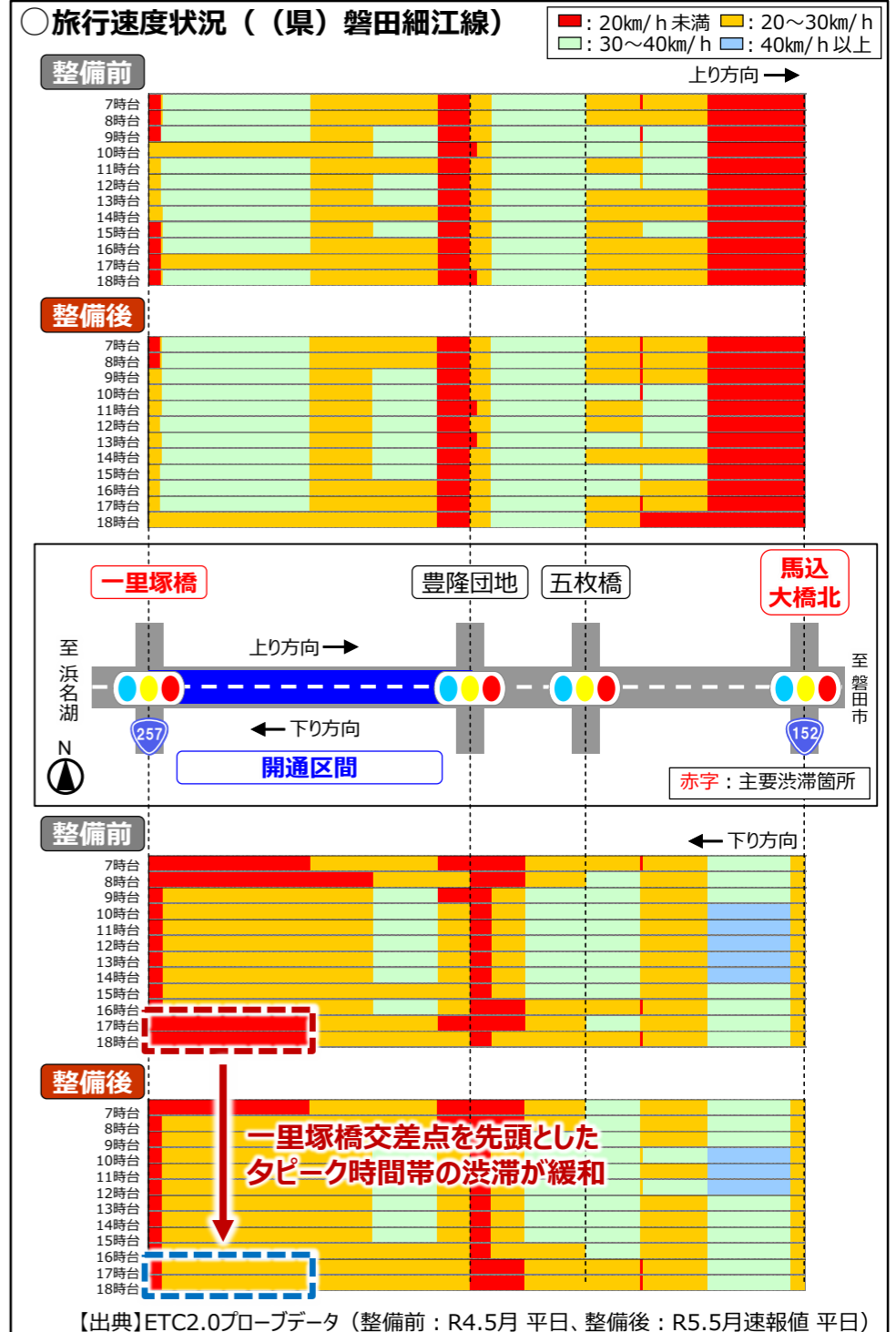


■事業概要

路線名称	(市)有玉南初生線バイパス
延長	約0.7km
着手年度	平成25年度
事業内容	バイパスの整備
完了時期	令和5年3月4日

(県)磐田細江線から
(市)有玉南初生線バイパスに交通が転換

■整備効果



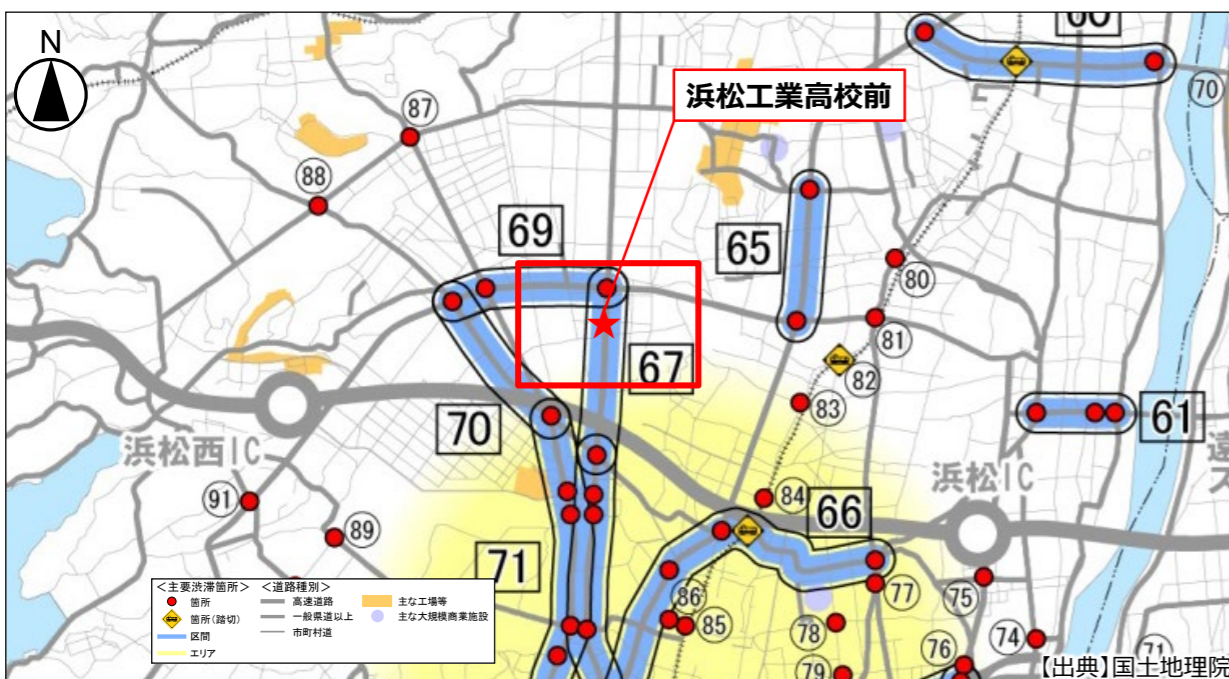
【出典】国土地理院

9. 国道257号浜松工業高校前交差点（実施主体：浜松市）＜令和4年10月11日完了＞

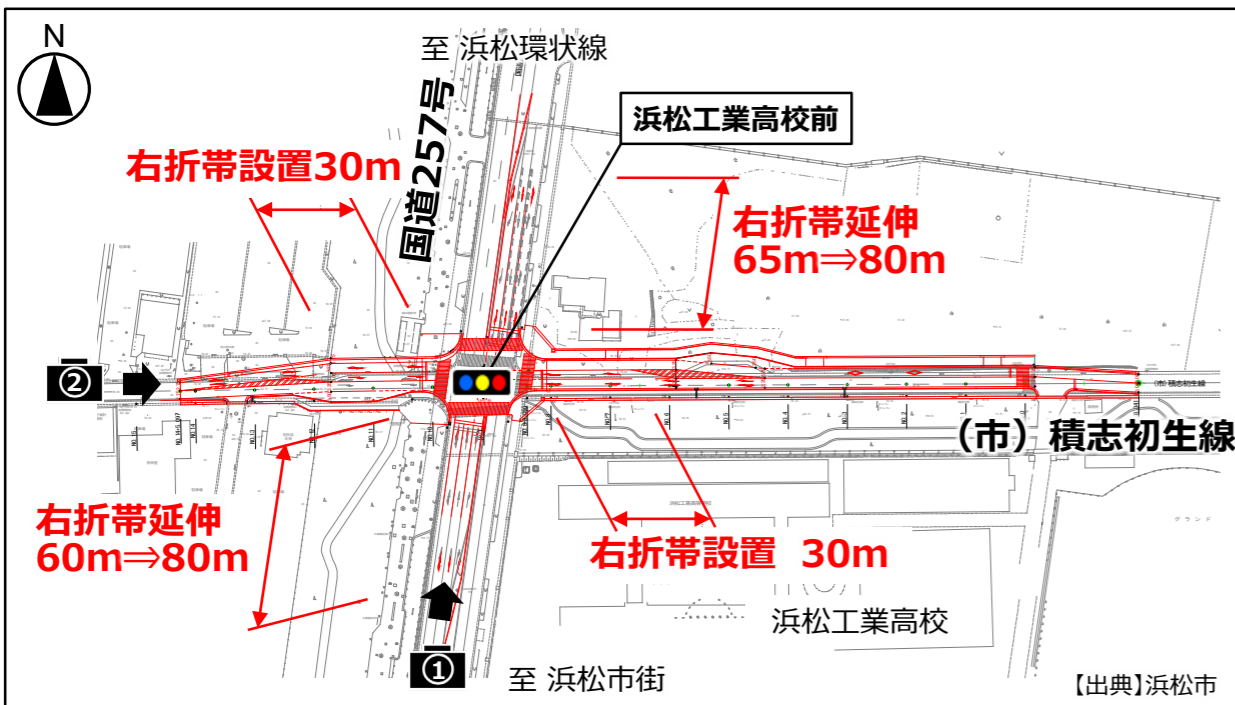
9-1 国道257号浜松工業高校前交差点 交差点改良(右折帯延伸・設置)

- 国道257号は、浜松市の主要幹線道路であり、国道257号及び交差道路である（市）積志初生線において、交通渋滞が発生。
- 右折車線に滞留する車両が直進車両の通行を阻害。
- 国道257号の右折帯延伸（北側65m⇒80m、南側60m⇒80m）、（市）積志初生線の右折帯設置（東側30m、西側30m）及び車線形状変更（西側）が令和4年10月11日に完了。
- 交差点改良実施により、国道257号、（市）積志初生線側ともに右折車両滞留による直進交通への影響の緩和が期待できる。

■位置図



■整備概要



■現地状況

■南側流入（国道257号側）

写真（整備前）



写真（整備後）



【出典】浜松市

■西側流入（（市）積志初生線側）

写真（整備前）



写真（整備後）



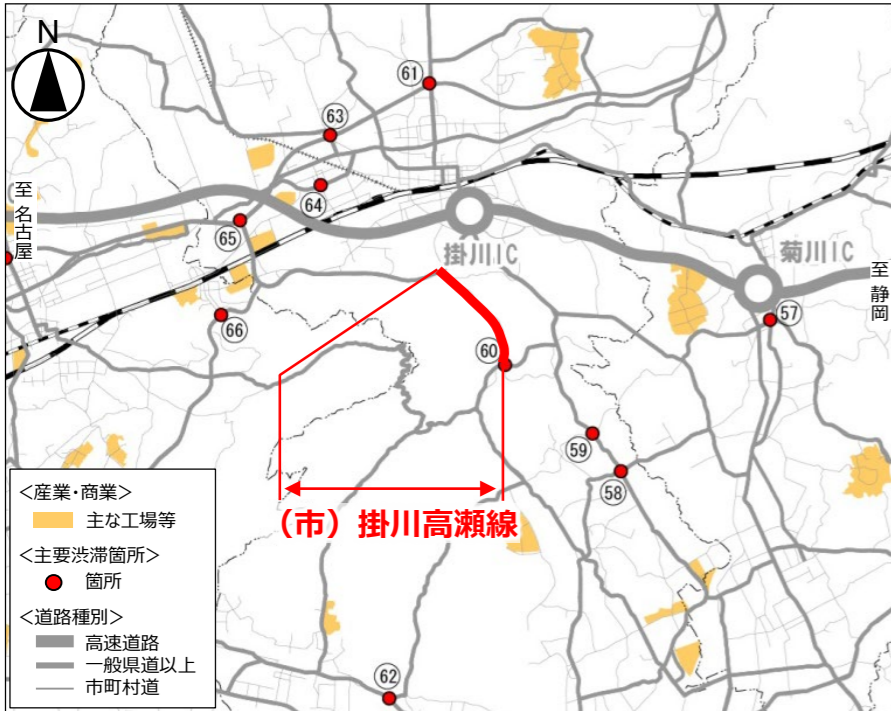
【出典】浜松市

10. (市)掛川高瀬線道路改良 (実施主体:掛川市) <令和5年3月10日完了>

10-1 (市)掛川高瀬線道路改良

- (主) 掛川大東線では、朝夕ピーク時を中心に、主要渋滞箇所周辺での速度低下が発生している。
- (市) 掛川高瀬線は、慢性的に混雑している(主) 掛川大東線のバイパス機能が期待されるが、農道規格故に道路構造上の走行性、安全性能が不足。
- 平成27年度より道路改良(拡幅) 事業に着手し、令和5年3月10日に全線整備完了。

■ 位置図

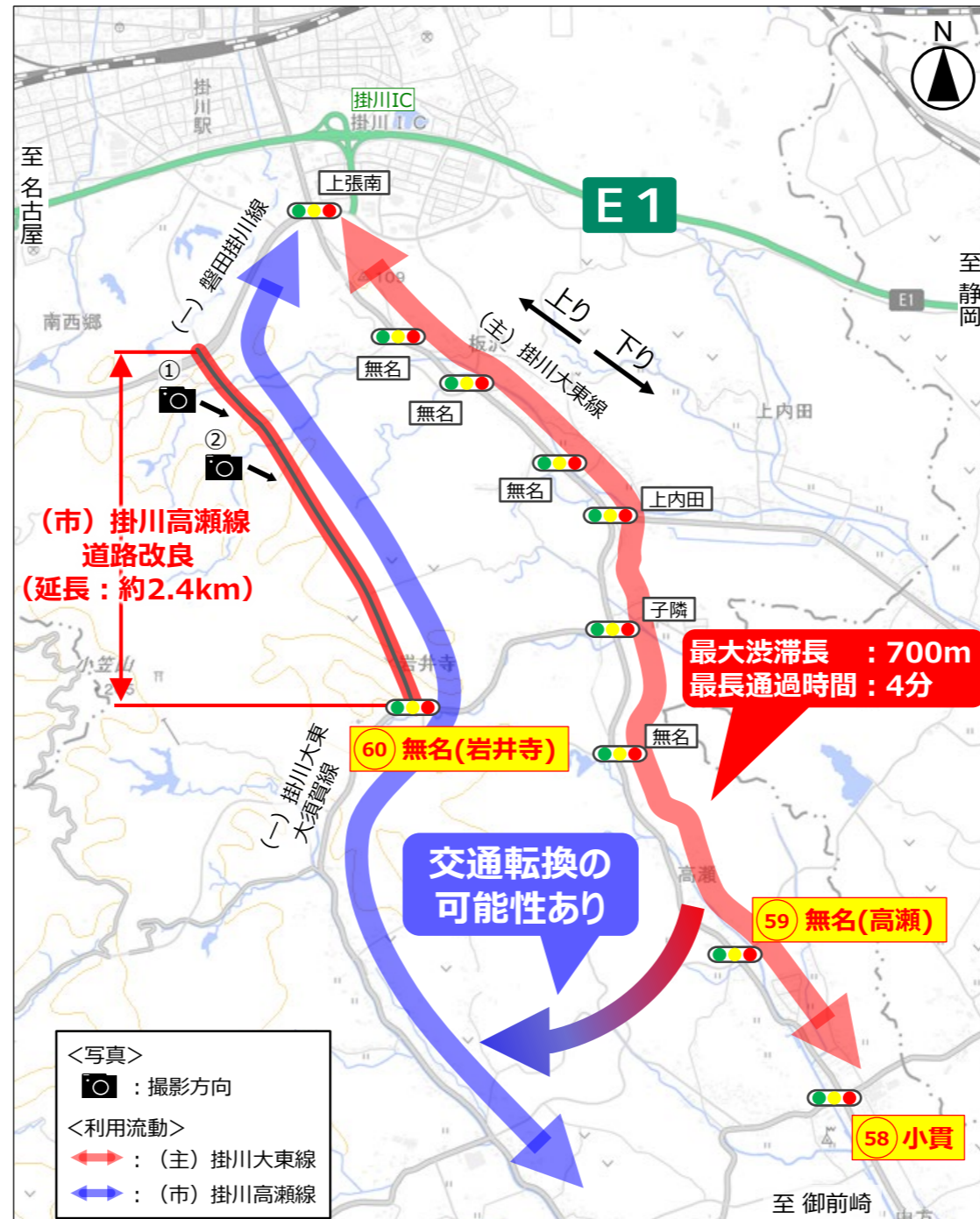


【出典】国土交通省 国土地理院

■ 事業概要

路線名称	(市) 掛川高瀬線
延長	約2.4km
着手年度	平成27年度
事業内容	道路改良(拡幅)
完了時期	令和5年3月10日

■ 対策概要



- <写真>
 ● : 撮影方向
 <利用流動>
 赤い矢印 : (主) 掛川大東線
 青い矢印 : (市) 掛川高瀬線

【出典】地図：国土交通省 国土地理院
 渋滞長・通過時間：交通実態調査 H21.7.14 (火)

■ 道路状況



11. 結論(案)

11-1 結論(案)

- 国道1号静岡バイパス瀬名IC交差点上りオフランプは、交差点改良による車線拡幅が令和5年3月17日に完了。交差点流入部及びオフランプで発生していた夕ピーク時における渋滞が緩和。朝ピーク時においてははやや速度向上がみられるものの、渋滞は残存。引き続き、効果検証を実施。
- （主）清水富士宮線は、静岡市清水区における延長約3.8kmが令和5年2月20日に開通。
今後、効果検証を実施する予定。
- 市道3地区359号線の田沼街道踏切は、踏切道改良促進法に基づき、車線幅員の拡幅（5m⇒6m）が令和4年12月23日に完了。今後、効果検証を実施する予定。
- （都）志太中央幹線は、国道1号バイパスと一般県道島田岡部線間の約0.5kmが令和5年3月25日に完了。
今後、効果検証を実施する予定。

11. 結論(案)

11-2 結論(案)

- 伊豆縦貫自動車道 河津下田道路（Ⅱ期）のうち、河津七滝IC～河津逆川IC（3.0km）が令和5年3月19日に開通。当該区間の開通により、国道414号現道及び（主）下佐ヶ野谷津線の交通が約4割転換し、生活交通との分散が図られ、国道414号現道ルート利用時に比べ約9分、国道135号ルート利用時に比べ約12分、所要時間が短縮。
- 国道414号 静浦バイパス第1期工区が令和5年3月27日に開通。当該区間の開通により、国道414号の一部区間において速度低下が緩和。
- （都）谷田幸原線（幸原町工区）が令和5年2月23日、（都）池田柵線が令和5年3月18日に開通し、三島駅から新東名まで直結。両区間の開通により、周辺の市町道から都市計画道路へ交通が転換。

11. 結論(案)

11-3 結論(案)

- (市) 有玉南初生線バイパスが令和5年3月4日に全線が開通。本路線の整備により、(県) 磐田細江線の交通が転換し、同県道の渋滞緩和が期待できる。
- 国道257号の右折帯延伸 (北側65m⇒80m、南側60m⇒80m)、(市) 積志初生線の右折帯設置 (東側30m、西側30m) 及び車線形状変更 (西側) が令和4年10月11日に完了。交差点改良実施により、国道257号、(市) 積志初生線側ともに右折車両滞留による直進交通への影響の緩和が期待できる。
- (市) 掛川高瀬線道路改良が令和5年3月10日に全線整備完了。(市) 掛川高瀬線は、慢性的に混雑している(主) 掛川大東線のバイパス機能が期待される。